



# 1,593億円 一般会計 補正予算成立

## ■平成23年6月定例愛知県議会閉会



6月24日に開会した県議会は、骨格予算であった新年度予算に対しての肉付けとなる補正予算関係10件、条例関係11件、その他議案12件を審議、**特別秘書の条例を修正し可決**、その他については可決、同意し、また議員報酬の削減、社会保障と税の一体改革への地方の意見の反映について、基幹的広域防災拠点の整備についてなどの意見書の採択を行い7月15日に閉会いたしました。

一般会計の補正は、1,593億円で補正後の予算額は2兆2,677億円となり、対前年は101.0%です。一般会計の補正では当初1千億円ほどの収支不足がありましたが、歳出では臨時的な人件費の抑制99億円、歳入では財政調整基金の取崩し523億円に加え減債基金の取崩し396億円により予算を編成しています。減債基金の県が任意に積み立てているその他分(22年度末残高約1,300億円)は当初予算で900億円の取り崩しを既に計上、今回の396億円で、財政調整基金同様、枯渇状態です。施策では、当初予算で見送られた医療費助成、私学助成などの計上に加え、緊急に措置が必要な県立高校の耐震化等の地震防災対策事業や知事のマニフェスト事業が盛り込まれています。特別会計、企業会計を含めた補正額合計は1,629億円となり愛知県の予算規模は総額3兆1,703億円です。



**稲沢市議会議員選挙**は9月18日告示25日投開票です。昨年より死亡者急増 **交通安全!** お願いします。



安城七つまつりキャラバン隊が民主党県議団を表敬訪問

県議会の海外調査を凍結しましたが、海外調査の意義は認めるも、あり方など見直しの必要と厳しい財政状況を考慮して総務会の総意として団に諮ったものです。また、議会改革の一つとして、定例会閉会後の**民主党県議団県政報告**を名古屋駅東口で実施しました。議会基本条例など**未来へつづくまちづくり**へ一生懸命働きます。

## 是々非々 二期目スタート

**猛暑お見舞い申し上げます。**

四月の改選後、初めての定例県議会が開会しました。鈴木は**総務会長**として**初の代表質問**に臨みました。新聞各紙で報じられたように、県民税10%減税や中京都構想、特別秘書などについて県の姿勢を質しました。知事給料削減と抱き合わせで提出された特別秘書は知事の私設秘書の色合いが濃く、厳しい財政状況の中では我慢するべきではないかという論点ですが、約50年ぶりの**「条例の修正」**という形で一応の決着となりました。団内外の交渉経過の中で五役として、**議会運営委員会副委員長**として早速様々な経験をさせて頂きました。

民主党県議団は、四年間に一度参加する



# STEP 21 県政 REPORT

2011H23

**民主党県議団 すすき純**

鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島 11-24  
Tel24-6600 Fax23-0791 juneri@mvd.biglobe.ne.jp

**1107**

# ■民主党愛知県議員団代表質問要旨(抜粋)

～県民の幸せに繋がる「あいち」づくり～

**すずき 純**

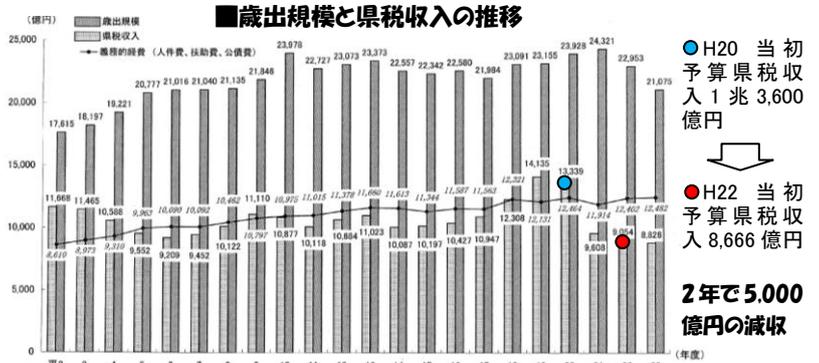
**JUN SUZUKI**



## 1 財政運営と行政改革について

### (1) 財政運営等について

リーマンショックに端を発した県税収入の急激な落ち込みに加え、東日本大震災による影響が懸念され、6月補正予算は、基金の取崩し、職員の給与削減という非常手段で財源を捻出。臨時的な措置としながら給与抑制は3年連続となり、県税収入に大幅な回復が期待できない状況の中、基金も枯渇、財政の健全化に向けた知事の考えは。また、知事給料を10%削減から削減率を30%に引き上げる条例で、知事の特別職の秘書給料も提案。知事給料の削減分よりも大きな額となる可能性があり、これでは何のための30%削減か理解できなげが知事の考えを質す。



今後も県税収入の急速な回復は望めないものと考えており、第五次行革大綱に基づく歳入確保の取組、県税徴収率の向上、未利用資産の売却などによる自主財源の確保に努めるとともに、国に対して、地方交付税の充実・確保などを求める。特別職の秘書は、今般の政治状況では、国会議員や政党各派との連絡調整が必要となる場面が多くあり、愛知県の運営をしていくに必要。職員の給与や報酬等は、人件費全体で議論すべき。

### (2) 事業のプライオリティーについて

### (3) 県民税10%減税について

超高齢社会が確実に訪れるなか、県の財政中期試算では毎年100億円ほど義務的経費の扶助費が上昇。大震災が発生し、知事が当選したときと大きく状況が変わった現在、防災対策をはじめ県政の課題解決のために、県民税10%減税の公約を見直す時期にあると考えるが知事に伺う。

減税に対する思いは、いささかも変わるところはなく、東日本大震災が今後の本県財政に及ぼす影響も含めて秋に向けて具体の検討を進めていく。その検討状況については、今後、広く意見を伺いたい。

## 2 防災対策等について

### (1) 東日本大震災支援から見てきた課題

### (2) 東海・東南海・南海地震の3連動対応

### (3) 原子力発電施設に対する対応

### (4) ボランティア活動等新しい公共の対応



### ■平成22年10月国勢調査による市町村人口(単位:万人)

名古屋市 226.3	豊田市 42.1	豊橋市 37.6	一宮市 37.5	岡崎市 37.2
春日井市 30.5	豊川市 18.1	安城市 17.8	西尾市 16.5	小牧市 14.7
刈谷市 14.5	稲沢市 13.6	瀬戸市 13.2	半田市 11.8	東海市 10.7
江南市 9.97	あま市 8.66	大府市 8.52	知多市 8.47	日進市 8.41
蒲郡市 8.22	北名古屋市 8.15	尾張旭市 8.11	犬山市 7.51	碧南市 7.20
豊明市 6.97	知立市 6.83	清須市 6.58	津島市 6.52	愛西市 6.49
田原市 6.41	みよし市 6.00	常滑市 5.48	長久手町 5.23	東浦町 5.00
新城市 4.98	岩倉市 4.73	高浜市 4.39	弥富市 4.32	武豊町 4.24
東郷町 4.18	幸田町 3.79	蟹江町 3.66	扶桑町 3.35	大治町 2.98
阿久比町 2.54	美浜町 2.51	大口町 2.24	南知多町 2.05	豊山町 1.44
設楽町 0.57	飛島村 0.45	東栄町 0.37	豊根村 0.13	

## 3 都市・集落の在り方について

### (1) 大都市制度と中京都構想 (2) コンパクトシティと開発の規制緩和

### 4 市町村合併について

### 5 中小企業支援と産業・地域活性化について

#### (1) 中小企業支援

#### (2) 産業・地域活性化

#### (3) 産業空洞化対策

### 6 男女共同参画について

イベントなど

31日稲沢夏まつり

8月6日

ガマーフェスタへいわ

15日そぶえ夏まつり



### ■民主党県議団初めての県政報告(名古屋駅)



やりました！ **なでしこJAPAN**。何かあっても諦めなかった不屈の精神は大震災の被災者から得て、またなでしこ被災地へ贈ったものとなりました。祝ワールドカップ初優勝。民主党県議団も団として初の県政報告を実施、一歩一歩ですが議会改革へ挑戦です。 **未来へつづくまちづくりへ** 一生懸命動きます。 愛知県議会議員 **鈴木じゅん**